



# 活動報告 NO.16 西野まさひと



ハッキリ言います! 市政にひとこと!

【ホームページ】<http://www.nishino1.com/> 【FAX】042-582-2866

■ 西野まさひとの会では平成20年12月議会における西野議員の一般質問と馬場市長、小川代議士の今年に向けての抱負についてご報告致します!



世界の人々が訪れる日野の街づくり!

Index : P2 P3 特集!「馬場市政3期12年間の成果」

P4 西野議員一般質問、市政ニュース速報

謹んで新年をお慶び申し上げます



昨年は原油高騰に始まり、サブプライムローンに端を発する「米国発の金融危機」により世界は未曾有の経済不況にみまわれてしましました。日野市ではセーフティネットコールセンターの設置等、早々に対策を打ち出しましたが、長引く不況に早くも税収不足が危惧されています。

市では、今年から本格的な建設が予定されていた「市民の森ふれあいホール」の着工を見送る苦渋の決断を致しました。雇用対策・中小企業対策等、課題が山積しておりますので、市民の皆様にはどうかご理解をお願い申し上げます。

今年は、市長選挙、都議選、任期

わずかと

なつた衆議院選と多くの節目を迎

えます。振り返れば馬場市政誕生

からこの12年間は、市政・都政・国

政と緊密な連携がとれ、日野市に

とつて良き発展の期間であつたと

思います。今年は多難・激動の一年

となるかと思いますが、私も市民

の皆様の負託に応え全力で

頑張つて参ります。最後に

皆様のご多幸を心よりご

祈念申し上げます。

日野市議会議員  
西野正人



日野市長 馬場弘融

謹んで新春のお慶びを申し上げます。

新年不安と困難を抱えて迎えた方も少なからずいらっしゃった方

も少なからずいらっしゃった方

西野議員のご挨拶もありましたように、経済不況の波は大手企業のリストラ等すでに日野市にも押し寄せて来ています。

しかしながら、私は日本の底力は健在であり、この不況も乗り越えて行けると確信しています。金融危機は行き過ぎたマネー

ゲームが崩壊し、投資家のなかで疑心暗鬼が広まり資金が循環せ

ずに凍結したため、世界の人々に不安が连锁的に広まつた状態

といえます。だからこそモノづくりで過去の困難を乗り越えて來た日本がイノベーションで世界の先頭を切つて持続可能な次世

代社会の環境適合型テクノロジーを生み出して行くべき時です。

そして今の時代こそセーフティネットをはじめ、くらしの

様々な分野で「あんしん」が必要なのだと思います。昨年末にも

早期に対応策を打ち出しましたが、今年は「市民のあんしん力

を高めよう」をテーマに、施策の各分野で市民の皆さんに「あんしん」感をもつてお過ごし頂けるよう取り組んでまいります。



衆議院議員 小川友一

新年明けましておめでとうございます。

昨年は、百年に一度といわれるほど

の世界的な金融危機から不況へと突入

した年でした。国会では政局ばかりが目立ちましたが、私自身は「今、自分に出来ることをしつかりやろう」という気持ちで走りぬいた1年でありました。所属する財務金融委員会では、緊急保証制度や金融機能強化法案の立法等を実現しま

した。また、議員連盟での活動では都市農地存続のため、相続税制改正や農地法の見直しを実現しました。

日野市内においては、約三十回、各地域で国政報告会を開催し、皆

様と意見交換をさせていただきました。これからも皆さまの代表として活動していくために、馬場市政、西野議員をはじめとする日野市議団、古賀都議と連携しながら地域貢献に務めたいと思います。

「分権で日本再生」をスローガンに、国の将来をしつかりと見据

えながら、今年も全力で政治に取り組んでまいります。今年も小川友一の活動にご支援を賜りますようお願い申し上げます。

## 子育て環境 子ども

待機児ゼロを目指して!子育てにやさしいまち日野に!



全国的には少子化でも日野市では子どもたちは増加しています。多様化する市民要望に応えるため民間の力を借りて様々な施策を実現してまいりました。

- 認証保育所・保育室・保育ママの利用者に補助金を創設!2万円/月
- 乳幼児の医療費の無料化!  
小・中学生医療費の本人負担分1/3を公費負担(所得制限あり)
- 市内全18小学校で放課後子どもプラン事業「ひのっち」を実施!
- 子ども家庭支援センター3館新設!

(平成13年からの7年間で)

## 教 育 まなび舎

子どもたちの安全が第一!小中学校舎の耐震化はほぼ完了!体育館の耐震化も現在60%完了!



今や日野市では障害を抱えた方は約6千人、  
じつに30人に一人が障害者です。

## 障害者福祉 いたわり

障害者の社会参加を支援し、安心して暮らせるやさしいまち日野に!



- 「気になる子ども」へのきめ細かい対応と発達支援センターの設置計画
- 障害者自立支援法以外の日野市独自の支援を実施!
- 社会福祉法人移転等への助成
- 社会福祉法人・NPO団体へのバックアップ

## 高齢者介護 お年寄り

民間の力を借りて市民要望に素早く対応!合計10の民間介護保険施設開設に助成!



老齢人口が年々増加し、すでに日野市でも介護保険施設のベッド数が慢性的に不足していました。そんななか、民間の力を借りて施設整備を早期に実現しました。

## 市役所改革 財政・行政

平成9年当時市財政はまさにパンク状態と言っていいほど困窮していました。財政改革と市職員の意識改革は市役所立て直しの根幹であり急務がありました。

私たちの子や孫へ負担を負わせないように!市財政を建て直しました!



## 基盤整備 まち・環境

「狭くなったところから日野」と言われていたように、平成9年当時、幹線整備が極端に遅れ、交通・下水道普及などで問題を抱いていました。

国・東京都との連携をとり立遅れた都市基盤を環境に配慮し、早期に整備しました!



## ごみ改革 環境

ごみ有料化を提案し、日野市民に二期目の挑戦で信を問いました!



日野市のごみは当時ダストボックスで回収されており、大量に廃棄されるごみは三多摩でワースト1を記録するなど、環境面・財政面などで多くの問題を抱いていました。そこで当時の馬場市政では、二期目の選挙後に改革案を提示するのではなく、あえて選挙前に「ごみ有料化」という市民に痛みを伴う政策を発表し、市役所一丸となり説明に奔走しました。

その結果、市民の理解を得てごみ改革は行われ、素晴らしい成果を上げることが出来ました。また、このことを通して、市役所では縦割り行政の枠を超えて市政にあたる市役所改革の機運を高めることができました。

## 西野議員の提言が実現! 「カワセミ商品券」追加発行



平成20年9月議会において、原油価格上昇により影響を受けていた市民生活への対応を問い合わせて、「プレミアム付きカワセミ商品券」の追加発行を提言しましたが、市の迅速な対応により実現いたしました。

12月3日に市内12カ所で、B券500円券が23枚綴りされた(1万1千500円分)を1冊1万円で販売したところ即日完売、15分から30分で売り切ってしまったそうです。百年來の世界同時不況と言われる中、市内の商工業者・農業生産者はもとより、日野市民の家計を助ける日野市の迅速な対応を高く評価します。

### 市内小規模企業に朗報! 新たな融資あっせん制度スタート



先の議会において、市に対してカワセミ商品券の追加発行の提言とあわせて、現在実施している融資あっせん制度の規模拡大と利子補給の拡大を提言しましたが、市の迅速な対応により実現いたしました。

不況による景気の悪化で小規模企業はすぐにも存続の危機を迎える危険性もあります。これまで行われていた日野市の融資あっせん制度は近隣他市と比べても優秀なものでしたが、さらにその規模と利子補給の拡大をし、新たな制度として実行することとなりました。(詳細は下記の「まちづくり部産業振興課商工係」へお問い合わせ下さい。)

産業振興課商工係 TEL -585-1111(内線3422)

質問  
13-1

## 市職員・ボランティアの安全対策を!



### 専門的防犯対策を じうすべき!



犯罪に対する防犯対策は今や不可欠な時代となりました。すでに市では様々な防犯対策を実施しています。では、市民の安全を支える市職員・ボランティアスタッフ自身にはどのように防犯対策をこうじているのかを問い合わせました。元厚生労働省の事務次官とその家族の方々がいわれなき理由で殺傷された事件は、市民の多くに衝撃を与えたものだと思います。今後、市職員やその家族に對しても逆恨みなどで危害が及ぶ可能性も視野にいれ防犯対策をこうじる必要があります。現在、市では防犯マニュアル等で指導を行い、市職員・ボランティアの住所等の公表をしないように対処しているとのことです。ですが、より専門的な知識とノウハウを取り入れた防犯対策をこうじる必要性があると思います。

質問  
13-2

### 新地名誕生! 「万願寺」ついでじー!

### 日野本来の伝統・文化をアーカイブ化!

本来のアクセントで発音されていない地名がすでにいくつか有ります。地名をはじめ地域に語り継がれる歌や方言などをアーカイブ化し、後世に正しく継承することも大切だと思います。詳細は下記HPで閲覧出来ますのでご覧下さい。

安全で安心して暮らせるまち日野を目指して!

## 立川市利用報道について クリーンセンター焼却施設の

### 日野市はあくまで地元の 了解が最優先の姿勢!



一部新聞で立川市のごみ焼却施設の老朽化に伴い、東京都の要請で、建替えが予定されている日野市クリーンセンターでの共同処理を模索しているとの報道がありました。日野市はあくまで地元の了解が得られなければ東京都・立川市との協議のテーブルにもつかない姿勢です。

立川市では現在、若葉町で稼働している焼却施設が老朽化し建替えを必要としていますが、かつて立川市が若葉自治会に対し「2008年を限度に他に移転する」との約束をしていたため、同敷地内での建替えが難航しています。そこで、広域処理を推奨している東京都から日野市へ要請がありました。しかし、立川市には大型商業施設が密集しており、事業系の大量のごみが排出されるため、共同処理されるとモノレール通りをこれまでよりかなり大量の収集車が行き交うことになります。

共同処理は日野市にとってクリーンセンター建替えにかかる費用を補う上でもメリットもありますが、はじめに「都の要請ありき」ではなく、あくまで「市民参画」をつらぬき、地元との協議を優先に検討を進めてまいります。